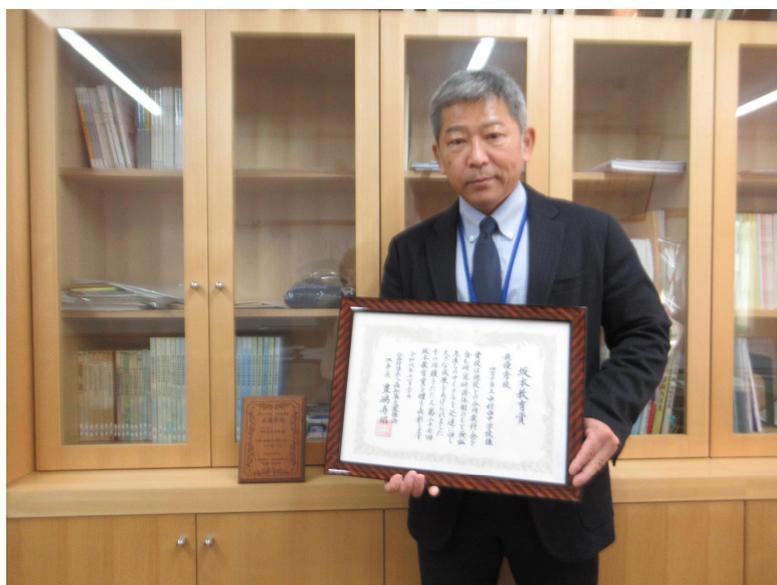


坂本教育賞を受賞しました

優れた教育実践をたたえるこの賞に県内小中学校で4校選ばれて中村西中学校も受賞いたしました。11月30日(土)に高知市で授賞式があり小野川校長先生が出席されました。高知新聞≪12月1日(日)≫にも掲載されました。これからも、生徒も教員も学び続ける学校として精進してまいります。



坂本教育賞に4校 中央小、中村西中、香北中、土佐山学舎

優れた教育を実践する県内の小中学校をたたえる「坂本教育賞」と、子どもの健全育成に貢献した個人や団体に贈られる「こども教育サポート賞」の本年度授賞式が30日、高知市榎橋通4丁目の市立自由民権記念館で開かれ、4校と1団体に表彰状が贈られた。県文教協会（豊嶋寿昭理事長）の主催。

坂本教育賞は同協会初代理事長、坂本重寿さんの遺族の寄付を基に「坂本教育文化賞」として1972年に創設。サポート賞は2005年に設立された。両賞とも市町村教委などの推薦を基に、教育関係者などでつくる選考委員会が選定した。（原周太郎）

表彰校と団体の受賞理由は次の通り。

【坂本教育賞・最優秀】中央小（津野町）≪地域住民と連携し、地域の歴史や産業などを児童が主体的に学べるよう工夫し、学力向上につなげた≫中村西中（四万十市）≪ICTの積極的な活用による生徒の学力向上と、生徒会主体の校則改定を進めて生徒の主体性向上につなげた≫

【同賞・優秀】香北中（香美市）≪国際バカロレア教育や地域に根差した総合学習を行い、生徒が主体的・協働的な学習に取り組める環境を整備した≫土佐山学舎（高知市）≪義務教育9年間を見通した独自の教育課程を編成し、外国語教育を重視しつつ地域学習を進めるグローバル教育を実践した。≫

【こども教育サポート賞】なほり浦の会（奈半利町）≪地域の歴史・文化を地域の子どもたちに継承しようと出前教室を行い、児童生徒の健全育成に向けた機会を創出した。≫

12月2日(日) 高知新聞より